

大津島データ  
人口 289人 男119人 女170人  
高齢化率 77.9%  
(平成28年5月31日現在)

# 潮流



題字：六郎万淳一さん イラスト：古城美保子さん

いま、周南の各地区には、伝統芸能と呼べるお祭りの踊りがいくつもあります。どの地域でも人口減少や高齢化の波にのまれ、徐々にその姿を失いつつあります。

## 平家踊り(馬島地区) 長持ち唄(本浦地区)

今回は、2つの踊りについてインタビュー形式でまとめました。

### 特集

#### 島の伝統芸能

全国各地で脈々と受け継がれているその土地の祭り。

この状況を憂慮した市は、この街の文化を末永く保存していくために、

集落は違えど、私たちの誇りとなるお祭りです。後世に伝えるために、

今も各地域に息づく伝統芸能を映像にして保存することにしています。今年、馬島地区の平家踊りと、本浦地区の長持ち唄が選定されました。

- ▼平家踊りの語り 古城銀六さん
- ▼長持ち唄の語り 足立良子さん 安達雅之さん
- ▼インタビュー 松本・神杉



平家踊り(馬島地区)

名前が平家踊りになったのは戦後の昭和21年。

源平の合戦の頃、敗軍となつた平家が、落ち延びるため光の室積に向かつていた途中、シケにあり大津島に避難した。その時、島の人たちがたいそうもてなし、それに感激した平家の武将が槍や刀で舞い、女は扇子で舞った。それを島の人たちに伝えたのがはじまりじやと聞いている。



古城銀六さん

■質問/衣装などは決まったものがありますか？  
■銀六さん 特に決まりはない。男は日頃から着ている服にハカマで踊った。女は着物で足はピンクのけだし(こしまき)じゃった。

■質問/どんな時に舞っていた踊りですか？  
■銀六さん 元々は供養のために踊っていた。(銀六さんの)母の時代には馬島の西と東に踊り場があった。舞台ではなく、広い家の庭や畑でやっていたので、場所は決まっていなかった。たとえ大雨が降っても供養踊りを請負ったら必ず朝まで踊りよった。

※4面に続く



平家踊り(現のんた祭)

※1面の続き

■質問/一番多い時で何人ぐらいの規模ですか？  
■銀六さん 多い時には馬島で1200人ぐらい住民がいて、それに回天関係の徴工員が3000人ぐらいいた。70人の青年団員が仕切ってやりよった。

## 長持ち唄

### 足立良子さん・安達雅之さん

■質問/いつ頃から始まったお祭りですか？  
■良子さん 私が20歳の頃に引ッ張り込まれたから70年以上は確実だね。たぶん、唄が「博多どんたく」と同じじゃけ、私に唄を覚えてくれた石田せきさんが参考にしたんじゃないかと思う。

保存会は昭和60年に発足して、バラバラな足運びも統一したね。そうせんと60キロの俵が担げんかったからね。

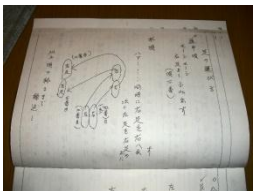
■質問/化粧や衣装は決まっていますか？  
■雅之さん 男性が女装して、女性が男装する。下はパッチ。上は着物を尻まくり。着物は手作り縫いよった。化粧品は近鉄松下まで買いに行きよった。

お祝い事じゃけー、面白く、皆を笑顔にせんといけんじゃろ。



足立良子さんと安達雅之さん

良子さんのノートには、長持ち唄の記録がびっしり。まさに虎の巻。



■質問/お祝い事とは？  
■雅之さん・良子さん 昔は家で結婚式をしよったから、家の中でもやりよった。他にも、巡航船の鼓海とフェリーの初航行の式典やら、海の郷やデイサービスセンターの開所式でもやったいね。

■質問/一番多い時で何人ぐらいの規模ですか？  
■雅之さん・良子さん 35人はおったかの。8人ずつで2つの俵を担いで、他は列の前で踊りよった。子ども用の俵を出した時もあったのう。



長持ち唄(本浦地区)

でも、地元の人からすれば「普通」のお祭りが、よその人からすると祭り自体を知らなかったり、「珍しいね」「面白いね」とその土地への関心が生れたりもします。

周南市内各地で25の郷土伝統芸能が大切に守り伝えられています。各地のお祭りは、昔ならどこでも当たり前のように行われていました。が、今では関係者の努力がなければ、お祭りが開催できない例も増えていきます。

## 伝統芸能を伝えるために

文川周南市生涯学習課 課長補佐 川上浩史

知ってもらいたくない。「平家の伝説が大津島にも」とか、「まあ面白い恰好をしちよってじゃ」と、いわば島のファンになつてくれるかもしれませぬ。

今年は大津島に伝わる平家踊りと長持ち唄を伝えていく力になりたいと思います。ご協力のほどよろしくお祈りします。

今年は大津島に伝わる平家踊りと長持ち唄を伝えていく力になりたいと思います。ご協力のほどよろしくお祈りします。



日程	平成28年度の行事
4/28	自治会長集会
6/12	砲台山草刈り
6/21	3団体総会
7/12	老人大学
8/14	平家踊りDVD撮影
9/15	敬老会
9/26	須金老人クラブ交流会
10/ 2	防災運動会(予定)
10/14	長持ち唄DVD撮影
11/ 6	文化祭
11/26	アイランダー(東京)
12/ 4	ポテトマラソン
2/11	建国記念の日奉祝行事
4/ 2	さくら祭り/須金交流会

## 総会報告 各団体の予定決まりました!

### 大津島三団体総会

〔大津島地区コミュニティ推進協議会、  
大津島地区社会福祉協議会、大津島観光協会〕

去る6月21日(火)大津島ふれあいセンターにおいて、多くの方のご参加の下、大津島地区三団体の総会を開催しました。各団体ともに、事業報告・計画、H27決算・H28予算が満場一致で可決されました。



本年度は、学校が休校となった最初の1年でもありますが、これまでの行事を工夫して、皆さんが楽しめる内容にしたいと思います。

去る5月29日(日)、総勢22

## 若潮の会通信

名で若潮の会の平成28年度総会を海の郷において開催しました。

総会前には、島の若者とのソフトバレーボールや、5月の周南市議会議員選挙に初当選された大津島出身の佐々木照彦さんのご挨拶があるなど盛りだくさんの内容でした。

総会では、平成27年度活動報告及び収支決算、平成28年度活動計画及び収支予算案が満場一致で承認されました。

人口減少が進む中、行事運営も大変ですが『島内の皆さんと一緒に』の参加を目標としますので、今年度も宜しくお願いします。

若潮の会 代表世話人 野間 久生

### 【今年の活動予定】

- 6/12 砲台山草刈り参加
- 8/15 アイランドカップ開催(ソフトバレー大会)
- 9/25 遠足実施(柳浦、馬島)
- 10月 学校草刈り応援
- 10月 大津島運動会参加
- 11月 大津島文化祭参加
- 12月 ポテトマラソン支援
- 4月 さくら祭り参加
- 通年 潮流、伝統芸能保存支援

### 【編集後記】

去る6月18日に、この潮流の編集委員としてご活躍いただいた、末兼正純さんにご永眠されました。

潮流の編集、発行には欠かせない存在であり、紙面を通じて、島のために多くのものを伝え残そうとしておられ、その熱意の下、編集委員の皆が一丸となって取り組んでおりました。

私も前号からの短い期間でしたが、経験不足や誤りを的確にそして厳しくご指導いただき、出来上がったときには「初めてにしては申し分ない」と、まるで不出来な息子に優しく声をかけるように褒めていただいたことが、昨日のように思い出されます。何の恩返しも出来ないまま旅立たれてしまわれ残念で仕方ありません。

末兼さんのご冥福を祈りつつ、故人の想いが詰まったこの潮流の流れを汲ますことなく、これからも島の一助となるよう頑張ってまいります。

編集委員一同(文責:神杉朋史)

## お知らせ

移動図書館 【やまびこ号Jr.】

7月20日(水)・8月24日(水)

9月21日(水)

馬島巡航待合所 11:30~12:00

刈尾巡航待合所 12:20~12:50

善意銀行へのご寄付ありがとうございます

【平成27年度決算】

預託者 7名様

36万8千円のご厚志をいただきました。

ありがとうございました。

【次回発行予定日】

平成28年9月1日 第251号

## 知っちょるかね

### 夏の子ども

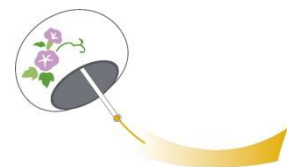
文=松本千恵子



芋や稲の草取りに背を焦がす大人を横目に、子供達は長い休みを謳歌する。「家の事もあるんけん、二時間でよ」と泳ぎの許しを待ちかねて、脱兎のごとく飛び出してゆく。そんな時代の子供の話。

折しも巨大タンカーが隆盛だった時代。出光のタンクの沖に入港したタンカーを見た少年三人、伝馬船に乗りタンカー目指して、子供達の不安げな顔を尻目に意気揚々と漕ぎ出した。暫く見ていた子供達もだんだん小さくなる伝馬船に一人去り二人去り、しまいには弟だけになった。尚も見ていた弟だったが、ずいぶん時間が経った事に気付

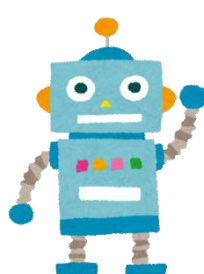
き、肉眼では見えぬ兄達が急に心配になり、家に飛んで帰った。弟の話に島では大騒ぎ。というのも、途中の岩島辺りは船の難所として有名だからだ。あわてて男達に船を出して助けに行ってくれと頼んでいるさ中、豆粒ほどの何かが見え初め、どんどん大きくなったそれは件の少年達。大人達の心配をよそに「よう来たのう、ちゅうて菓子くれたんでよ」タンカーは大げすぎで壁のようなじゃった。大けな声で呼んでも、なかなか気が付いてくれなかったんでよ」と武勇伝の披露。子供達の尊敬の眼差しの有るまい事か。ただこの後、父ちゃんか



大津島の最新情報は、  
オフィシャル Face book ページ  
『のほほん大津島』で紹介しています。  
<https://www.facebook.com/nohohon.oodushima/>

らこっぴどく怒られたのはいうまでもないけどね。このほかにも歩み板で徳山まで行って見せると船出して、徳山湾の途中で通り掛かった船に拾われたり、タライの底に潜んで事故かと慌てて、こぶり込んだ親を大笑いして、ゲンコツを、にやしあげられたのや、昭和の悪童たちの武勇伝の一席。

## ひろしのつばき



文=屋野廣志

ねずみ小僧の義援金か3万円の給付は誠に有難い。対象者1100万人と云ふから3300億円か。消費税も取らねば、貧困老人の思いやり、困った家庭へ子供への対策、国の財政は大きな赤字と聴くが、アベノミクスや三本の矢とか0%の金利策など経済の成り行きは知るよしもない。良き時代の到来を願ふのみ。愚息が携帯電話を持つと云ふ。その便利さはよく知るが、その操作機能に於いては何故に恐ろしさを覚へる。昨今では人工知能は人間の頭脳を越へたと報じ、種々の職業も代替となるこの事。私共の世代では電話の普及に喜び、チャイセル

エンジンの力強き安全性に、それに伴う自動車の進歩、大型船舶の建造。全ての病は此のペニシリで克服などなど。無能な我々は1粒でも多く、1個で速く多く動かし運ぶ、その技と量を競い、それなるが故に、より良き子供の成長を願い、望みしが、我が老後の介護は人工ロボットに願ひ度い。ロボットは我が体調を感知し、食事、投薬、最善の処理を正しく判断し静かに寂境へと向かわせるであらう。願わくば、ロボット同志優劣強弱を競わず、平和を守り、より以上の便利な社会構成を願ふとつばやく。

※原文のまま掲載しています。